

事務事業名		福祉施設スプリンクラー設置事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉G	課長名	上村 博子
	施策名	(22) 高齢者福祉の充実		担当者名	糸原 幸子	電話番号	0854-40-1042 (内線) 3618
	目的 対象	65歳以上の市民	意図 生きがいを持って、いきいきと暮らす。	予算科目	会計	款	大事業 大事業名
	基本事業名	(065) 地域ケア体制の充実			011502	老人福祉施設管理事業	
目的 対象	65歳以上の市民	意図 住み慣れた地域で安心して暮らす。		項	目	中事業 中事業名	福祉施設スプリンクラー設置 事業
				053521			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市有福祉施設へのスプリンクラー設置工事を行う。
宿泊を伴う介護保険事業を有する建物には消防法上スプリンクラーを設置する義務がある。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)			
		入間コミュニティセンターへのスプリンクラー設置工事 入間コミュニティセンターには宿泊サービスも行う介護保険の小規模多機能型居宅介護事業所があるため、消防法上29年度末を期限としてスプリンクラーを設置する義務がある。 ①設計監理業務の委託 ②設置工事の実施	平成26年度終了事業			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア	スプリンクラーが設置されている市有老人福祉施設数	施設	2	2	3
	イ	市有老人福祉施設数	施設	24	24	24
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	施設の利用者	ア	65歳以上高齢者数	人	14,035	14,246	14,460
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
防火対策を行うことにより施設を安心して利用することができる。	ア	市内高齢者福祉施設(宿泊を伴うもの)のうちスプリンクラー未設置施設数	施設	2	1	0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)		② コストの推移		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
① 設計監理業務委託料	345千円	事業費	国庫支出金	千円				
② 工事請負費	6,210千円		県支出金	千円			3,720	
計	6,555千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			2,835	
		事業費計(A)	千円			6,555		
		人件費	正規職員従事人数	人			4	
			延べ業務時間	時間			50	
		人件費計(B)	千円			194		
		トータルコスト(A)+(B)	千円			6,749		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢者の入所または宿泊施設については全国的に火災による被害が続き、防火施策の強化が進んでいる。これにより、スプリンクラー設置義務の対象も広がった。	民間施設へのスプリンクラー設置については、県補助金等を活用し整備を進め未設置の施設はなくなった。	安全な施設に向けての整備が望まれている。

事務事業名	福祉施設スプリンクラー設置事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	-----------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市内において、入所・宿泊系の高齢者福祉施設でスプリンクラーが未設置の施設はなくなった。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	今後、消防法の改正により設置義務の対象が広がればその対応をする必要がある。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はない																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		設計業務は設計事務所に委託して行い、建設部の協力を得て実施するため																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		設計業務は設計事務所に委託している。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		設備整備事業であり、受益には当たらない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																										

3 今後の方向性【PLAN】